

西多摩地域広域行政圏協議会・(公財)東京都道路整備保全公社共催

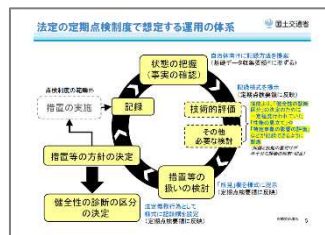
道路橋定期点検要領の改定講習会を実施しました！

令和6年11月27日、西多摩地域広域行政圏協議会・(公財)東京都道路整備保全公社の共催による道路橋定期点検要領の改定講習会が東京都内で開催され、関東MCの職員が講師として地方公共団体の皆様へ説明等を行いました。

1. 定期点検要領改定の概要説明



定期点検要領の改定について 変更点や作業面で改善が期待される点を紹介

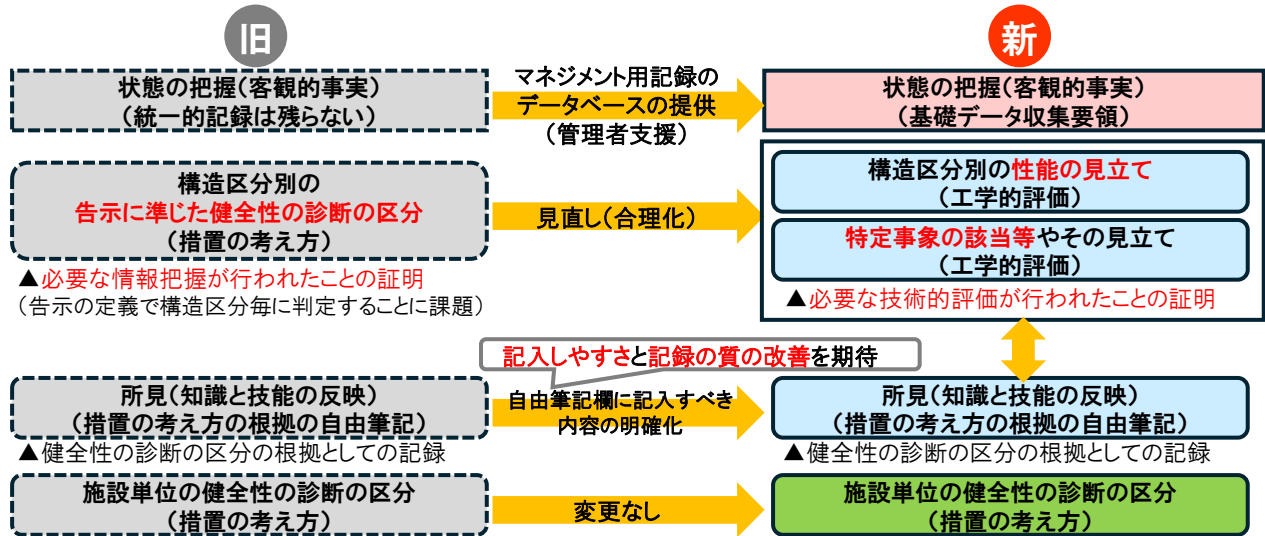


定期点検制度で想定する運用体系を説明



調書記載様式の変更点やポイントを説明

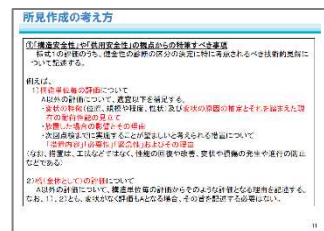
定期点検要領改定のポイント(橋梁の場合)



2. 定期点検要領改定を踏まえた実習会



実際の橋梁を題材に点検・診断の ポイント等について講習



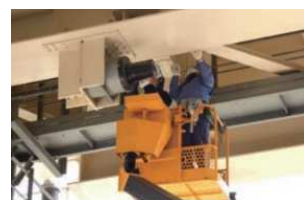
性能推定への構造・構成整理に関する説明 健全性評価など所見作成の考え方を解説

関東道路メンテナンスセンター設立7周年目を迎える

技術相談をはじめとする地方公共団体の皆様による道路メンテナンスを技術面でサポートする活動に取り組んできました。これから先も皆様にとってより身近で頼れる存在となれるよう尽力してまいります。

関東道路メンテナンスセンターの事業のあゆみ

- ・平成31年4月 関東道路メンテナンスセンター設立
- ・令和元年8月 秩父橋において直轄診断(現地調査)を実施
- ・令和2年5月 関東地方整備局内から現在の事務所へ移転
- ・令和2年 秩父橋(秩父市)において当センター初の修繕代行に着手
- ・令和4年7月 センター長による優良工事表彰を開始(以降毎年実施)
- ・令和5年3月 秩父橋における修繕代行が完了
- ・令和6年1月 地方公共団体からの技術相談件数が100件を突破
- ・令和7年4月 設立7周年目を迎える



TOPICS 「道路メンテナンス年報」をご活用ください

「道路メンテナンス年報」とは、国民・道路利用者の皆様に道路インフラの現状及び老朽化対策についてご理解いただくため、点検の実施状況や結果等を取りまとめているものです。

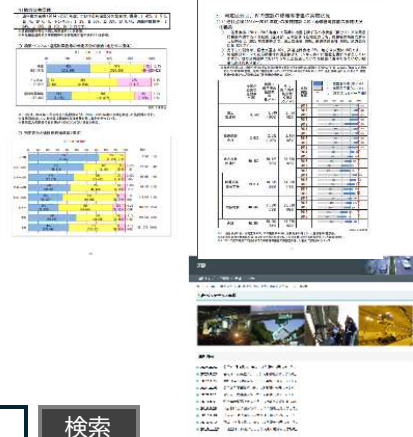
【道路メンテナンス年報・令和5年度版のポイント】

- ★橋梁・トンネル・道路附属物等の2巡目点検の実施は概ね100%に。
- ★地方公共団体の修繕が必要な橋梁の措置着手・完了率は低水準が続く。
- ★建設後50年を経過した橋梁数は増加している一方、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁数は着実に減少

国土交通省(本省)のホームページからご覧いただけます。

道路メンテナンス年報

検索



TOPICS 地方公共団体技術支援事例をホームページで公開中！

関東MCで取組んでいる地方公共団体に向けた様々な支援について、具体的な支援事例を関東MCのホームページ内で紹介しています。ぜひ、参考にしてください。

関東道路メンテナンスセンター

検索



関東MC職員からのメッセージ

関東MCでは地方公共団体からの技術相談を含めた技術支援の要望は随時受け付けております。相談や現地調査、研修講師に係る費用はかかりませんのでお気軽にご相談ください！

※ただし、技術支援の内容によって、他団体（国総研など）の協力が必要になった際や修繕代行は費用負担が生じる場合があります。

千葉県道路メンテナンス会議

橋梁点検に関する研修会に講師として参加

令和7年2月5日、千葉県道路メンテナンス会議による千葉県内地方公共団体職員を対象とした「橋梁点検に関する研修会」が開催され、関東MCの職員が講師として参加しました。

1. 実際の小規模橋梁を題材とした現地実習

千葉県内にある小規模橋梁を題材に点検方法に関する実習を行い、損傷の種類や発生性状などを確認することで、損傷原因の推定や緊急性の判断などの診断のポイントについて解説を行いました。



千葉県内から多くの地方公共団体職員に参加いただき実習



橋桁の健全性について打音検査で確認



関東MC職員等により橋梁の下面などの点検ポイントについて説明



2. 座学講習で現地実習のおさらいや意見交換を実施

現地実習の題材となった橋梁の健全性の判定等について、グループ毎に意見をまとめ発表を行ったうえで、関東MCの見解をもとに説明を行いました。また、各地方公共団体からの質疑応答も実施しました。



点検調書の記入方法や点検調書の解説



質疑応答では地方公共団体職員のお悩みごとに対して
関東MC職員が技術的助言を行った

関東地方整備局職員に向けた非破壊検査演習を実施しました！

超音波などを用いることで、対象となる構造物の状態の確認を傷つけたり壊すことなく行う「非破壊検査」について、首都高速道路技術センターさまにご協力いただき、関東地方整備局職員向けの講習を実施しました。日々の道路メンテナンス業務の高度化に向け、実習を交えて検査方法等について学習しました。

(実施日：令和7年2月6日)



ブラックライトを用いて鋼材の表面欠陥を検出する磁粉探傷試験



鋼材・溶接部の組織と亀裂の位置関係を明確にする磁粉探傷試験



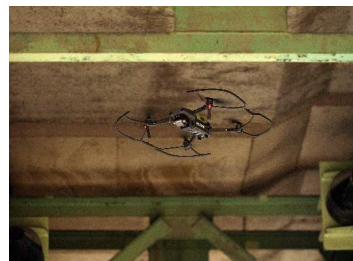
超音波を用いて鋼材の内部欠陥を検出する超音波探傷試験

UAVを活用したデータ収集のデモンストレーションを実施！

UAVを用いた橋梁の点検・データ収集のデモンストレーションを実橋にて実施しました。

(実施日：令和7年1月29日)

UAVによる撮影データは、360度映像や橋梁の3次元モデルの自動生成ツールに反映するなど、関東MCにおけるさらなるDXの推進にむけて活用していきます。



TOPICS

皆様の参考になる取組も多数掲載「インフラメンテナンス大賞」

「インフラメンテナンス大賞」は、日本国内のインフラのメンテナンスに係わる優れた取組や技術開発を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介しています。国土交通省ホームページにて紹介されていますので、地方公共団体の皆様も参考までにぜひご覧ください。

【掲載されている取組テーマの一例】

★各メンテナンス業務の効率化・高度化

★包括的民間委託の活用

★インフラ長寿命化対策

★データベースの活用

★技術力向上の支援

★地域住民等との連携 など

インフラメンテナンス大賞

検索



関東MC職員からのメッセージ

関東MCでは地方公共団体からの技術相談を含めた技術支援の要望は随時受け付けております。相談や現地調査、研修講師に係る費用はかかりませんのでお気軽にご相談ください！

※ただし、技術支援の内容によって、他団体（国総研など）の協力が必要になった際や修繕代行は費用負担が生じる場合があります。